イドは、みえませんか、と交渉したら、20分ほどでガイドさんがみえました。 彼は、優しそうな若い青年で、カーサ・アンコールホテルのロビーで、私たち と条件を交渉した後、 IKTTという所に行くことが決まりました。車で向か ったのですが、運転手の男性はガイドさんの兄弟だったように記憶しています。 LKTTは、山奥にあるみたいだったので、街からどんどん緑深い森林を車は

走っていき、車の中では先生 から、色々な話を聞きました。 この日のガイドさんは、どち らかというと聞き上手な静か な人でした。その話のなかに は、カンボジアの学校は、午 前の部と午後の部の二部にわ かれていて、教師も生徒も足 りないこと、農業に従事して いる子供も多く、山奥に逃げ 込んだ牛を追って行った子ど もが地雷で足をなくした、と いうことなどを聞きました。 正直にいうと、私はカンボジ アで地雷を踏むことを一番恐 れていたので、IKTTに行 くまでに地雷があるのかない のか、かなり不安でした。

では、また次回、お目にか かれますように・・。

🌺 これ (右) は10年ほど前の記 事です。森本さんと知り合って 10年近くになります。 | KTT は「クメール伝統織物研究所」の 略。私はカンボジアに行くと必ず 彼を訪ねる。彼は私とは一歳上。 彼のお父さんは鈴鹿の林崎出身。 伝統の森のヒントは鈴鹿の鎮守 の森だという。

彼の生き方に惚れ、私は彼と話 すと心やすらぐ。(萩森)

## カンボジア伝統の絹織物を復興させた

られるカンボジアの緋。伝統 奔走して10年たつ。 優美な意 命力に引き寄せられ、復活に には命が宿っていた。 匠と光沢ある豊かな色彩で知

の代表として、日本のテレビ ール遺跡群近くに設立した せられて移り住んだ。アンコ 後の戦乱で途絶えていた。 局の撮影を手伝って得る収入 たが、タイ、カンボジアに魅 「クメール伝統織物研究所」 京都の手描き友禅職人だっ

中も全員有給、予連れ可。 能を若者が懸命に学ぶ。研修 織り手を探し出した。その技

鶴見

を回り、埋もれていた高齢の 料になる虫や樹木を取り戻す 働く。桑を植え蚕を育て、 を続ける。今は約500人が 探づくりも始まった。 ユネスコ委託の調査で村々

引き抜かれたこともある。 が好き、と言ってもらえた」 が、中核の50人は誘いを断っ 働き手10人ほどが高給で 「本物を作るここの仕事

告会を開いた。 初めて受け、このほど帰国報 織りを実演する観光施設

ロレックス賞を日本人として

で遂行する個人」に贈られる

喜久男

さん

森本

制したポル・ポト政権とその

も注ぎ込み、

自転車換業

った布には作り手の名を添え 年に創設した「傑出した企画 スイスの時計メーカーが76 という気持ちを支えるの 僕の仕事」と心得る。 「もっといい物を作りた

9